













# 学校評価アンケートの結果

令和6年1月  
北部小だより 増刊号

昨年の12月には、大変お忙しい中、学校評価アンケートへの回答にご協力いただき、ありがとうございました。今後も、子どもたちや保護者の皆様からの回答をもとに、よりよい教育活動等の実施に向けて改善を図っていきたいと考えています。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

児童アンケートの結果から（小数点以下の処理の都合で、合計が100%になっていない項目もあります。）

<p>1. しょうらいの ゆめや もくひょう、または、「こんな人に なりたいな」という おもいを もっていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 よくあてはまる 57%</li> <li>● 2 あてはまる 32%</li> <li>● 3 あてはまらない 9%</li> <li>● 4 まったくあてはまらない 3%</li> </ul> 	<p>2. どくしょに すすんで とりくめていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 よくあてはまる 34%</li> <li>● 2 あてはまる 36%</li> <li>● 3 あてはまらない 24%</li> <li>● 4 まったくあてはまらない 5%</li> </ul> 
<p>3. そとあそびをして、げんきに すごせていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 よくあてはまる 54%</li> <li>● 2 あてはまる 27%</li> <li>● 3 あてはまらない 14%</li> <li>● 4 まったくあてはまらない 5%</li> </ul> 	<p>4. あいさつや ていねいな ことばづかいが できていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 よくあてはまる 32%</li> <li>● 2 あてはまる 53%</li> <li>● 3 あてはまらない 14%</li> <li>● 4 まったくあてはまらない 1%</li> </ul> 
<p>5. じぶんが すんでいる ちいきや まちのことを たいせつに おもえていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 よくあてはまる 57%</li> <li>● 2 あてはまる 37%</li> <li>● 3 あてはまらない 5%</li> <li>● 4 まったくあてはまらない 1%</li> </ul> 	<p>6. じぶんいがいの さまざまな人（がいこくの人、ねんれい・かんがえ・きょうみなどが ことなる人など）のことを もっとしりたいと おもいますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 よくあてはまる 43%</li> <li>● 2 あてはまる 41%</li> <li>● 3 あてはまらない 12%</li> <li>● 4 まったくあてはまらない 4%</li> </ul> 
<p>7. がくしゅうを ふかめるために、また、じぶんが もっとよくなるために、 どうしたらいいかを しっかりと かんがえられていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 よくあてはまる 36%</li> <li>● 2 あてはまる 48%</li> <li>● 3 あてはまらない 13%</li> <li>● 4 まったくあてはまらない 3%</li> </ul> 	<p>8. ともだちと いけんを だしあったり、いままでに がくしゅうしたことや けいけんしたことを いかしたりしながら、がくしゅうを すすめられていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 よくあてはまる 45%</li> <li>● 2 あてはまる 47%</li> <li>● 3 あてはまらない 6%</li> <li>● 4 まったくあてはまらない 2%</li> </ul> 
<p>9. がくしゅうを すすめる中で、じぶんにとって だいじだなとおもうことや せいかつにいかせ そうなことを みつけられていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 よくあてはまる 46%</li> <li>● 2 あてはまる 41%</li> <li>● 3 あてはまらない 10%</li> <li>● 4 まったくあてはまらない 3%</li> </ul> 	<p>10. たんきゅうタイムで、じぶんが とりくみたいことを みつけて、たのしく とりくめていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 よくあてはまる 73%</li> <li>● 2 あてはまる 20%</li> <li>● 3 あてはまらない 4%</li> <li>● 4 まったくあてはまらない 2%</li> </ul> 

児童アンケートについては、子どもたちの育ちに有益な教育活動等の実施に向けた検証をより一層適切に行うために、一部の項目を見直して実施いたしました。

**【新設項目について】**

**○項目 1：「将来の夢や目標、または、『こんな人になりたいな』という思いをもちますか」**

自分の生き方・在り方に関する項目として新設しました。「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせると、89%の児童から肯定的な回答が得られています。

本校では、子どもの主体性を大事にして教育活動を展開しています。夢や目標、理想の自分像は、一人一人が学習や運動などにおいて主体性を発揮する際の原動力になると考えます。

例えば、探究タイムで自分の夢につながるテーマを掲げて、没頭して取り組む子どもや、縄跳びなどの運動で技の成功に向けて何度も練習をしている子ども、ふれあい班活動を通して「こんなお兄さん、お姉さんになりたい」という思いをもち、自分から異学年の友達に関わろうとする子ども、様々な職業で活躍する人との交流を通して自分の将来を見つめ直す子どもなど、自分なりに夢や目標などをもって主体的に学ぶ姿が多く見られました。

今後も、そのような学びの場を大切にしていくことで、一人一人の子どもが、自分なりの夢や目標などをもつことができるようにしていきたいと思えます。

**○項目 5：「自分が住んでいる地域や町のことを大切に思っていますか」**

ふるさとへの愛着・愛情に関する項目として新設しました。「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせると、94%の児童から肯定的な回答が得られています。

子どもたちは、自分たちの身の回りに、地域の伝統行事や春日川などの豊かな自然、そして、何よりも、自分たちのことをいつも見守ってくださっている方々がいることを感じているのではないのでしょうか。それが、本項目の肯定的な回答の割合の高さにつながっていると考えられます。

学校においても、生活科や総合的な学習の時間において、地域にある学習材を活用したり、各分野の専門の方から学んだりする場を取り入れています。ふるさとを大切に思う子どもが100%になることを目指して、地域の「ひと・もの・こと」との関わりを大事にした体験的な学習を実施していきたいと思えます。

**○項目 6：「自分以外の様々な人（外国の人、年齢・考え・興味などが異なる人など）のことをもっと知りたいと思えますか」**

多様な人との共生に関する項目として新設しました。「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせると、84%の児童から肯定的な回答が得られています。

これからの社会は、様々な人との共生が求められる多様性の社会と言われています。自分と異なる考えをもつ人と関わり合い、一人一人にとってよりよい社会をつくっていくことが求められます。その素地を養うためにも、日々の学習では、子どもが問題に対する考えをしっかりともちことや、それを表現すること、互いの考えを受け入れること、みんなで問題を解決する喜びを感じられるようにすることを大事にしていきたいと思えます。その他、異学年の友達や校外の人と関わるような体験的な活動も実施していきます。

**【継続項目について】**

直近3年間のアンケートの回答状況です。表の中の数値は、「よくあてはまる」「あてはまる」の回答を合わせた割合(%)です( R5② が今回の結果です。昨年度から新設した項目もあるため、それ以前のアンケートにおいて実施していない項目については、斜線にしています)。

年度 項目	R2①	R2②	R3①	R3②	R4①	R4②	R5①	R5②
項目 2							77	70
項目 3	84	83	75	77	74	83	79	81
項目 4 上段:挨拶 下段:言遣い	82	82	83	83	83	90	86	85
項目 7						81	82	84
項目 8						88	89	92
項目 9						90	87	87
項目 10						93	95	93

継続項目についても、肯定的な回答の割合が、概ね8割以上得られています。その中で、項目 2 の読書の取組についての回答が、前回と比べてやや低くなっています。

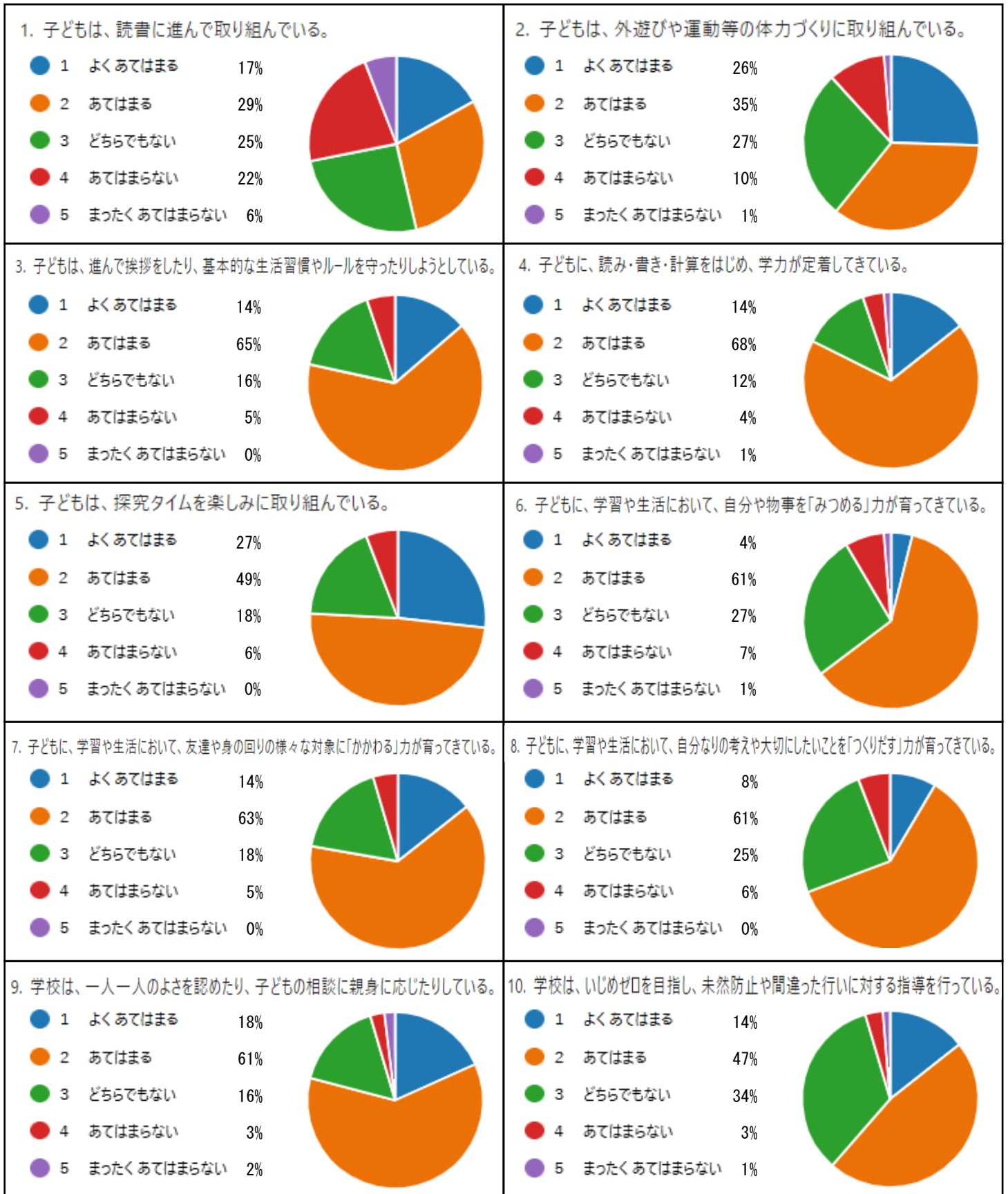
読書活動については、日頃からストーリー☆ママさんや図書ボランティアさんが、季節にあった内容の読み聞かせや掲示物の作成などを行ってくださっています。その他にも、2学期には、わくわく book 委員会の子どもたちがクリスマスのお話を開催したり、各教員が読み聞かせを行い、子どもたちが好きなところに聞きに行く

「お話レストラン」を実施したりするなど、新たな取組も実施しました。

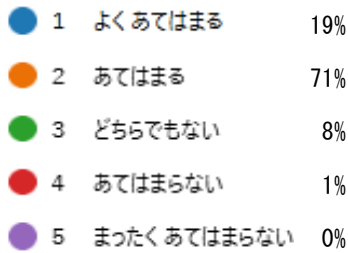
アンケートの数値としては、やや低くなってはいますが、今後も、子どもたちが読書活動に親しむことができるような取組を工夫して実施していきたいと思えます。

また、項目4の挨拶や丁寧な言葉遣いに関する回答についても、85%の割合が得られてはいますが、登下校時の子どもたちの挨拶の少なさについてのご意見もいただいています。登下校時の交通安全と併せて、見守ってくださっている方々への感謝の気持ちの表し方のひとつとして、自分から進んで挨拶をすることを、今後も継続して指導していきたいと思えます。

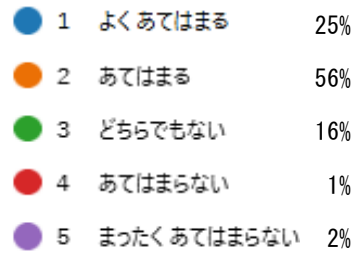
保護者アンケートの結果から（小数点以下の処理の都合で、合計が100%になっていない項目もあります。）



11. 学校は、体験的な学習や交流等を通して、子どもの豊かな心を育てている。



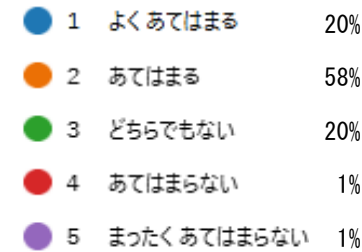
12. 学校・学級だよりやホームページ、参観等を通して、学校生活の様子を知ることができる。



保護者アンケートの項目については、前回と同様の内容で実施いたしました。回答の選択肢については、過去のアンケートでのご意見を踏まえて、今回、新たに「どちらでもない」を設けました。

以下が、前回と今回の回答状況です。(表の「よくあてはまる」「あてはまる」と「あてはまらない」「まったくあてはまらない」については、それぞれを合わせた割合(%)です。)

13. 学校は、行事やPTA活動等において、家庭・地域との連携を図っている。



項目 回答	項目 1		項目 2		項目 3		項目 4		項目 5		項目 6		項目 7	
	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回
よくあてはまる あてはまる	54	46	77	60	89	79	85	82	86	76	77	65	80	77
どちらでもない		25		27		16		12		18		27		18
あてはまらない まったくあてはまらない	47	28	23	11	11	5	15	5	14	6	23	8	10	5

項目 回答	項目 8		項目 9		項目 10		項目 11		項目 12		項目 13	
	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回
よくあてはまる あてはまる	83	69	89	79	90	61	98	90	90	82	97	78
どちらでもない		25		16		34		8		16		20
あてはまらない まったくあてはまらない	19	6	11	5	9	4	2	1	10	3	3	2

前回と比べて、各項目とも、「あてはまらない」「まったくあてはまらない」の回答を合わせた割合(%)が減少しているものの、その割合の減少分が「どちらでもない」の回答につながっているという傾向が見取れます。

「どちらでもない」と回答された方に、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答していただけるように、教育活動の改善を図っていく必要を感じるとともに、特に、「どちらでもない」の割合が高い項目( 項目 2 の項目)については、お子様の育ちを通して、本校の教育活動の成果を感じていただけるよう、努めていきたいと思ひます。

**○項目 2 : 「子どもは、外遊びや運動等の体力づくりに取り組んでいる。」**

2学期までに、運動会や陸上練習、香川県教育委員会主催の外遊びチャレンジ「あそびンピック」への参加、ふれあい班活動で実施した王様水鉄砲など、体育の学習だけでなく、子どもたちが屋外で体を動かすことよきを感じられるような取組を実施してきました。3学期は、持久走も実施します。教員も、外遊びや体力づくりの活動に積極的に取り組む姿勢を示すことで、学校全体に運動へ親しむ風土を広げていきたいと思ひます。

**○項目 6 : 「子どもに、学習や生活において、自分や物事を『みつめる』力が育ってきている。」**

「みつめる」力は、昨年度より掲げている重点目標(「みつめる」「かかわる」「つくりだす」)の1つです。子どもたちも、それらの力の大切さや学ぶ意味を感じられるようになってきています。

「みつめる」力を育む上で、自分の学習や生活を振り返ったり、見通しをもったりすることが重要だと考えています。授業改善の視点として、振り返りと見通しを大事にした授業づくりに努めていきたいと思ひます。

**○項目 10 : 「学校は、いじめゼロを目指し、未然防止や間違っただ行いに対する指導を行っている。」**

いじめゼロに向けた取組や間違っただ行いに対する指導に関して、まずは、そのような状況が生じないように未然防止に不断に努めて参ります。授業などにおいて複数の教員が関わる場面も生かして、子ども一人一人の状況を丁寧に見取することに努めるとともに、教員と子どもとの良好な関係づくりを通して、相談しやすい風土を醸成していきたいと思ひます。全ての子どもが「学校に通うのが楽しい」と思えるよう、学校のHPにも掲載している「高松市立木太北部小学校いじめ防止基本方針」に沿って、着実に取り組んでいきたいと思ひます。